

# 母と子のにわ

—利用者みなさまと母子医療センターをつなぐ—

- 1 「パクパクひろば」の開放時間延長、「ユニバーサル・ワンダー・トイハウス」「ユニバーサル・ワンダー・ミルキングルーム」がオープン
- 2 がんばり屋さん、航空写真からみる母子医療センター今昔
- 3 入院におけるご協力をお願い、母性棟に新しい個室が出来ました、その他のイベント報告
- 4 ディズニーの楽しい夢が届きました、センターからのお知らせ



## 「パクパクひろば」の開放時間を延長しました



3月1日に1階コンビニの近く栄養相談室横にオープンしました、食事スペース「パクパクひろば」は、受診中の患者さんやそのご家族に大変好評で、連日多くの方に利用していただいています。

8月からは、開放時間を午前7時から午後10時（変更前は午後8時）まで延長しました。

お気軽にご利用ください。



## 「ユニバーサル・ワンダー・トイハウス」「ユニバーサル・ワンダー・ミルキングルーム」がオープンしました

当センター2階東棟に「ユニバーサル・ワンダー・トイハウス」及び「ユニバーサル・ワンダー・ミルキングルーム」がオープンしました。

この2つの部屋は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™を運営する株式会社ユー・エス・ジェイが、社会貢献事業であるUSJドリームウィーバーズ活動の一環として、難病の子ども達を支援するため、主要取引先と共にチャリティ・ディナーショーを開催し、その収益の一部から当センターにご寄付をいただき、完成したものです。

5月10日（水）、株式会社ユー・エス・ジェイから執行役員人事・総務本部長の下村敏啓氏、オペレーション本部副本部長兼技術部長の大出賢幸氏、マーケティング本部 UCJ シニア・アートディレクターのソーン・ソル氏の3名にご列席いただき、当センターからは倉智総長、木内病院長、野口事務局長が出席しオープニングセレモニーを開催しました。

会場となった1階アトリウムは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™の垂れ幕で飾られ、いつもとは



TM & © 2017 Sesame Workshop  
© 2017 Peanuts Worldwide LLC  
TM & © Universal Studios. All rights reserved.

少し違う雰囲気。その中、株式会社ユー・エス・ジェイの下村執行役員から「病院で少しでも楽しい時間を過ごしてほしい」とのメッセージと共に目録が当センター倉智総長に渡され、倉智総長からは、「すばらしい部屋が完成し、ありがたい」と感謝状を下村執行役員にお渡ししました。そして、2階東棟に移動しテープカットを行いました。2階東棟の患者さんやそのご家族も早速新しいプレイルームを訪れ、皆さん楽しそうに遊ばれていました。

このオープニングセレモニーの様子は、テレビや新聞で多数取り上げていただきました。



## がんばり屋さん

クローン病の皆に！！

Y.K. さん

僕は、小学5年の時にクローン病とわかりました。入院中1ヶ月は、エレンタール以外何も食べられなくて、つらかったのを覚えています。毎日ずっとお腹が空いていて、イライラしていたけど、先生たちはとても優しく、嫌な検査も乗り越えることが出来ました。

僕の病気は完全に治らないし、食事にも気をつけて食べないといけないけど、あまり病気のことを気にせずに生活できています。一番嬉しいことは、大好きな野球を続けられていることです。

同じ病気で悲しい思いをしている皆も、今つらい日々だと思いますが、僕も病気と付き合いながら毎日を過ごせています。普段の生活が本当に幸せに思える、そんな日が必ず来るので治療を頑張ってください。

募集中

がんばり屋さんのコーナーでは、登場してくださる方を募集しています。母子医療センターで治療を受け、現在各方面で頑張っている方をご紹介します。自薦・他薦は問いません。詳しいことは、母子保健調査室までお問合せください。

電話：0725-56-1220（内線 3241）

E-mail：kikakushi@mch.pref.osaka.jp



## 航空写真からみる母子医療センター今昔

2017年6月、約20年ぶりに航空写真を撮影しました。手術棟、リニアック棟、ファミリーハウスや立体駐車場など少しずつ設備を充実させていったことがわかります。そして、何よりも目を引くのが、緑の木々の成長です。この20年間で当センターは立派な森に囲まれた病院になりました。そのため、側溝に大量の落ち葉が溜まって、近隣の方々に大変ご迷惑をおかけしたこともあり、今年その木の一部を伐採しましたが、また新芽が芽吹き、その成長を楽しみにしています。

ところで、当センターを囲む森は何かの形に似ていると思いませんか？そう、当センターのシンボルマークです。子を優しく抱く母の姿をハートの形で表しているシンボルマークに似ていませんか。20年ぶりの航空写真の撮影は、思わぬ気づきをもたらしました。



2017年撮影



1997年撮影

## ♡ 入院におけるご協力をお願い

### 入院する病棟について

母子医療センターは毎日20名前後の患者さんが入院されます。入院には予定入院と緊急入院がありますが、入院治療の必要な患者さんがいつでも入院できるように、毎日空きベッドの調整をしています。

小児棟の入院病棟は患者さんの病気の特異性やその時に入院している患者さんの人数によって決めています。そのため、入院病棟は入院当日に入退院センターでお伝えします。

妊娠中や出産後の患者さんは、母性棟への入院となります。出産後は母子同室を行っています。患者さんの状態に応じて、予定入院と緊急入院があります。外来診察当日に急に入院が決まる場合もあります。入院時の連絡方法については、母性外来でお伝えしています。

### 個室について

小児病棟の個室は感染症の患者さんや治療上で個室が必要な患者さんに優先で利用しています。そのため、患者さんからの個室希望をお聞きすることはできませんのでご了承ください。また、個室での入院が不要になりましたら、相部屋へ移動していただくことがありますので、ご協力をお願いします。

母性棟には有料個室があります。トイレ・シャワー付きの個室や2人部屋もあり、5種類の有料部屋があります。ご利用については、入院時にご相談ください。

当センターでは、患者さんご家族の方に安心して入院していただけるよう取り組んでいます。入院生活において何かご不安なことやご質問などがありましたらお気軽にご相談ください。また、入院中に気になることやご希望等がありましたら病棟看護師にご相談ください。

## ♡ 母性東棟に新しい個室が出来ました

2017年3月、母性東棟に新しい個室が4室できました。柔らかな木目や緑・ベージュを中心とした色調で、リラックスして過ごせるお部屋になっています。

ご家族での面会にもゆとりがある広さで、多くの患者さんにご利用して頂いています。



## その他のイベント報告



2017. 5. 29(月)

ほぼえみパーク（病院に動物園・水族館を生中継）を開催しました。



2017. 8. 5(土)

第8回きつずセミナーを開催しました。



2017. 9. 29(金)

しまじろうが当センターに来てくれました。

# ディズニーの楽しい夢が 当センターに届きました



6月29日(木)、東京ディズニーリゾート・アンバサダーの福本望さんとディズニーの仲間たち、ミッキーマウスとミニーマウスが、当センターの入院中の子どもたちに会いに来てくださいました。朝から夕方まで1日中、小児病棟はディズニーの魔法にかかったかのように、患者さんやそのご家族の笑顔で包まれました。

今回の訪問は、病気療養などの事情から、東京ディズニーリゾートへの来訪が困難な方々のところへ、東京ディズニーリゾート・アンバサダーがディズニーの仲間たちと共に訪問し、ディズニーの楽しい夢を届けるといふ東京ディズニーリゾート・アンバサダーの福祉活動で、当センターも長い間待って、やっと実現したものです。

この楽しい思い出がいつまでも子どもたちの心に残り、明日への勇気・夢そして笑顔につながれば嬉しいです。



大阪母子医療センター  
公式フェイスブック

facebook



いいね!



よろしくお祈りします!

<https://www.facebook.com/mch.pref.osaka/>

ゆるキャラグランプリ  
2017

モコニャンに  
たくさんの  
投票を  
ありがとう  
ございました!



モコニャンの LINE  
LINE スタンプ販売中!



QRコード、または  
クリエイターズスタンプから  
「モコニャン」で検索してね!

## 基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します

## 基本方針

- ・周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します
- ・患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います
- ・地域の保健医療機関と連携して母子保健医療を推進します
- ・母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます

地方独立行政法人大阪府立病院機構  
大阪母子医療センター

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840

電話・0725-56-1220

FAX・0725-56-5682

<https://www.mch.pref.osaka.jp/>